

2023年6月21日

#### 目的事項



#### 報告事項

- 1.第16期(2022年4月1日から2023年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および 監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 2.第16期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)計算書類報告の件

#### 決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件 第3号議案 監査役2名選任の件 第2号議案 取締役9名選任の件 第4号議案 補欠監査役1名選任の件



#### 社内基幹システム開発の中止について



#### 2018年より社内新基幹システムの企画・開発を推進

(当初計画 2020年10月稼働)

追加開発等で更なる延伸

テレワーク等による働き方の多様化

クラウドを活用したデジタル化の進展

社会・経済活動が急速に変容しており環境変化への柔軟な適応が必須

社内基幹システム

開発を中止し、新システムとして再構築することを判断

(2023年2月13日に「特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ」として開示)

社内基幹システム開発の中止に伴う特別損失 18億5,400万円を計上







#### 新型コロナウイルスの感染状況が一時的に改善したものの

オミクロン変異株により感染者数が再拡大

為替の円安進行

ウクライナ情勢の長期化の影響

社会・経済情勢は不透明な状況が継続



## クラウド基盤を活用した事業・業務領域は一層拡大

## デジタルの利活用は確実に増加



## サイバー脅威の領域も拡大

身代金要求型攻撃(ランサム攻撃)

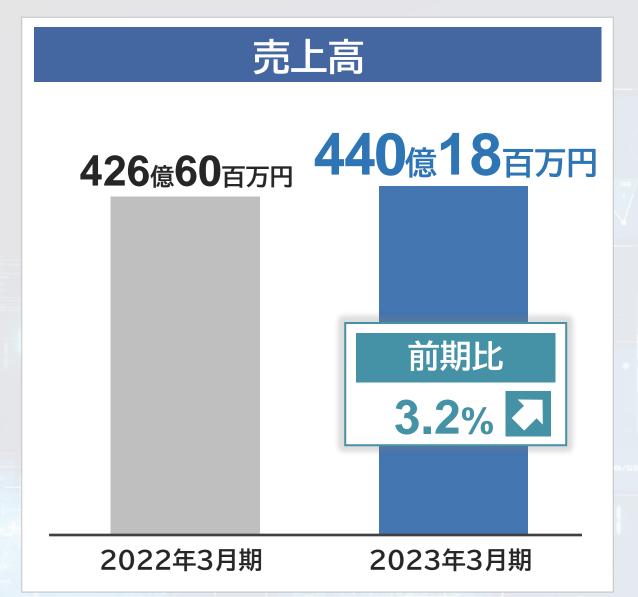
高度なスパイ攻撃活動

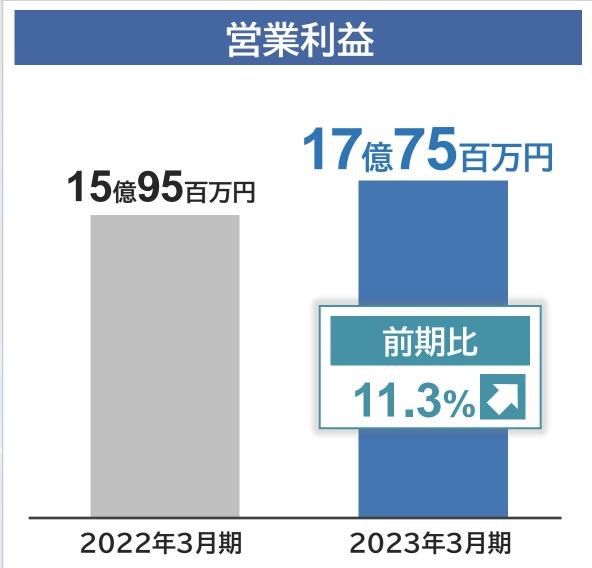
内部不正

総合的なサイバーセキュリティ対策が必要

## 業績【連結】







### 業績【連結】





# 親会社株主に帰属する当期純損益 社内基幹システム開発の中止に伴う 損失を特別損失として計上 14億1百万円 ▲1億47<sub>百万円</sub>

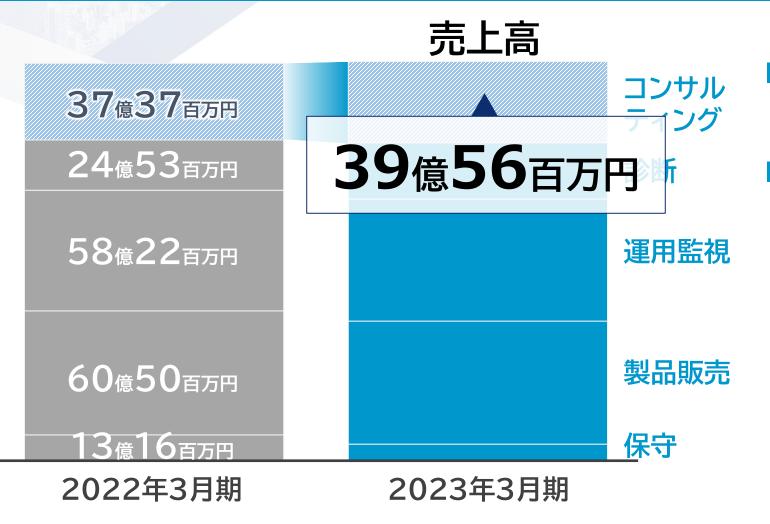
2022年3月期

2023年3月期

# 事業別の状況 セキュリティソリューションサービス事業 (SSS事業)



#### セキュリティコンサルティングサービス



- コンサルティング案件が 拡大
- エンドポイント対策支援サービスや教育・訓練サービスが伸長

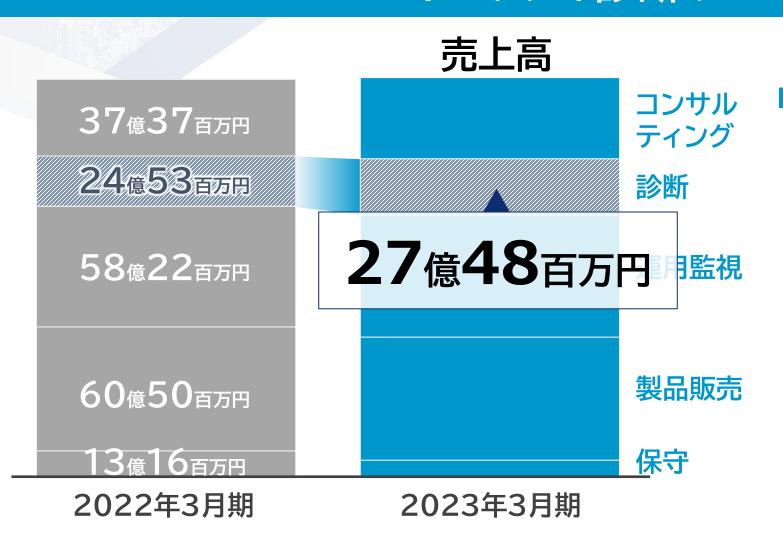
#### 前期比

**5.9**%





#### セキュリティ診断サービス



ウェブアプリケーション 診断サービスや プラットフォーム 診断サービスが 好調に推移

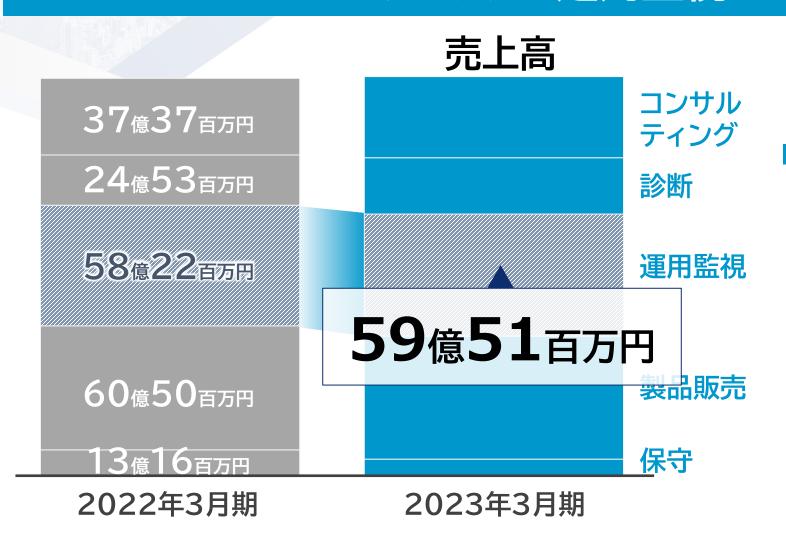
#### 前期比

12.0%





#### セキュリティ運用監視サービス



■ 個別監視サービスや 内部不正監視サービス などが伸長

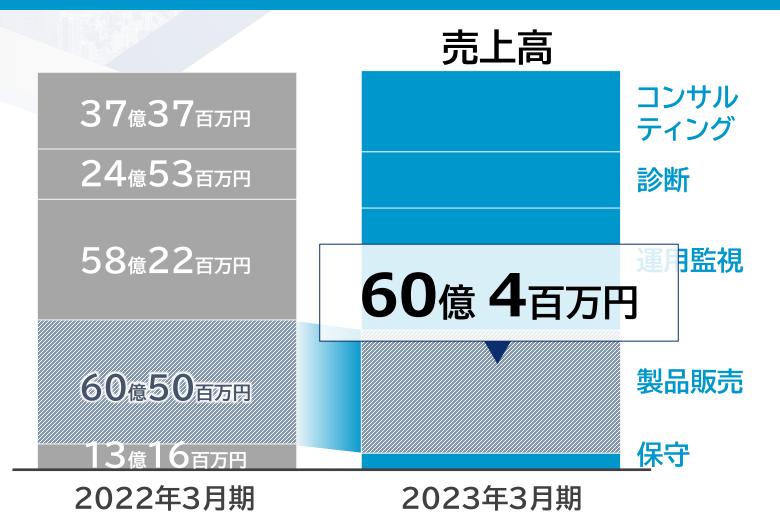
#### 前期比

2.2%





#### セキュリティ製品販売



- ■ウェブセキュリティ対策 向けのクラウド対応製品 などが拡大
- ■前期の大型案件を上回る 伸長に至らず

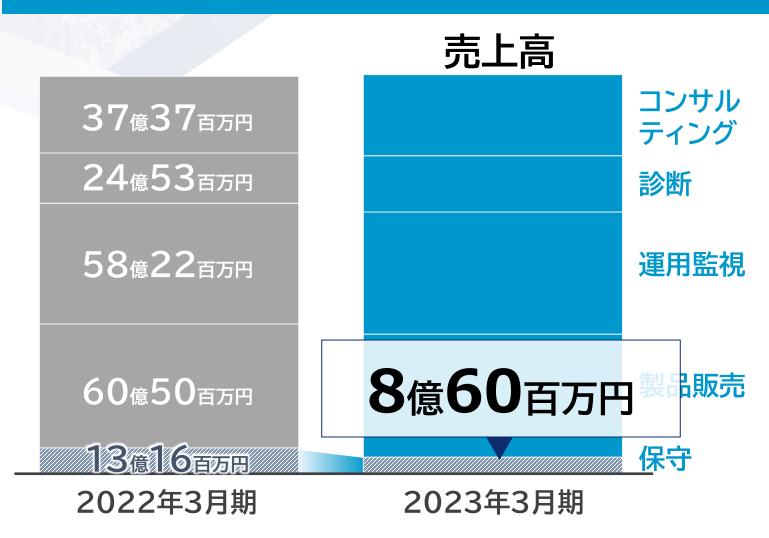
#### 前期比

0.8%





#### セキュリティ保守サービス



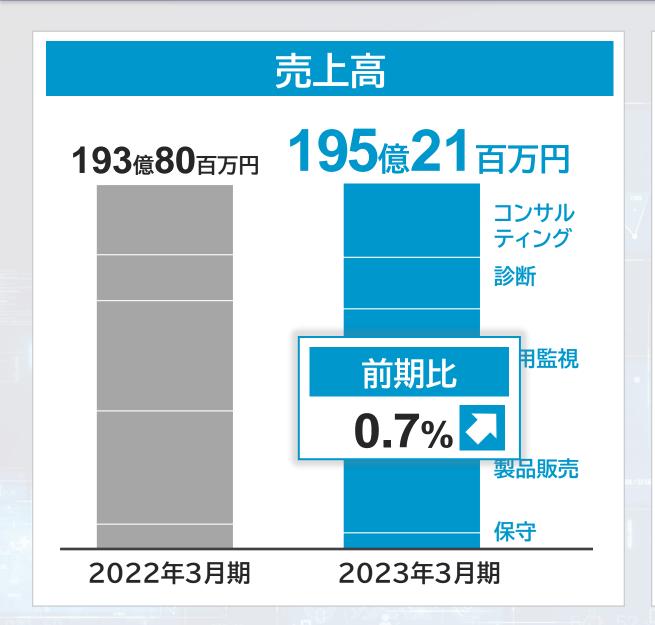
■ クラウド対応製品の 拡大に伴い 既存案件が減少

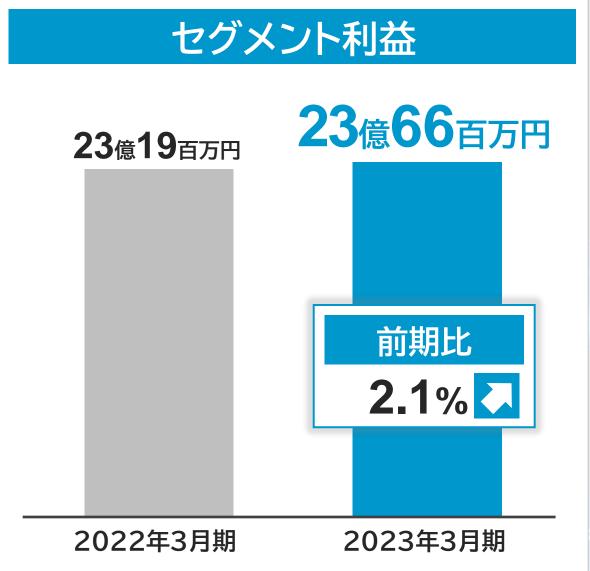
前期比

34.6%









# 事業別の状況 システムインテグレーションサービス事業 (SIS事業)



#### 開発サービス





大手銀行やクレジット カードなど金融業向け、 サービス業向けなどの 案件が大幅に伸長

#### 前期比

6.5%

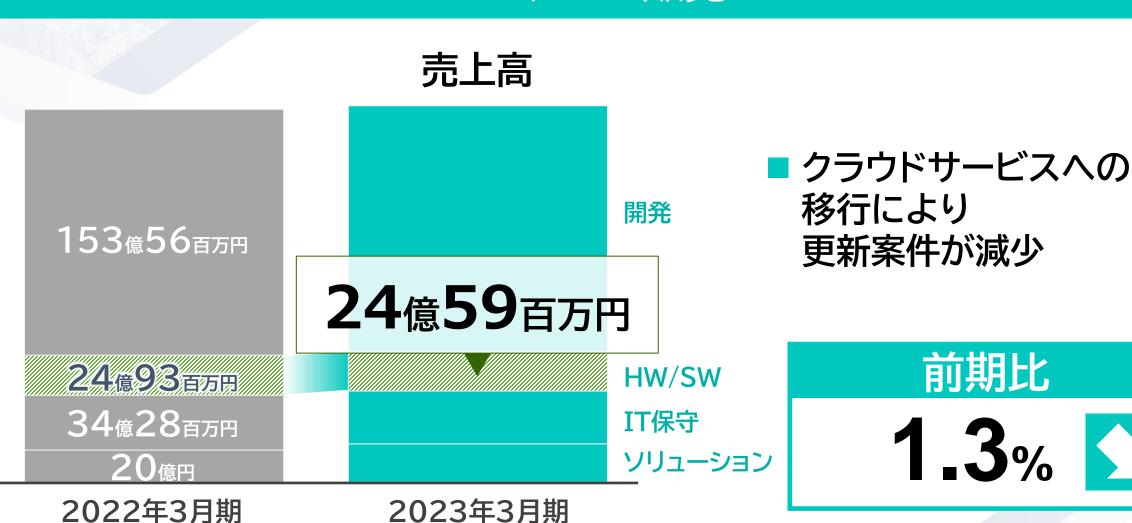


2022年3月期

2023年3月期

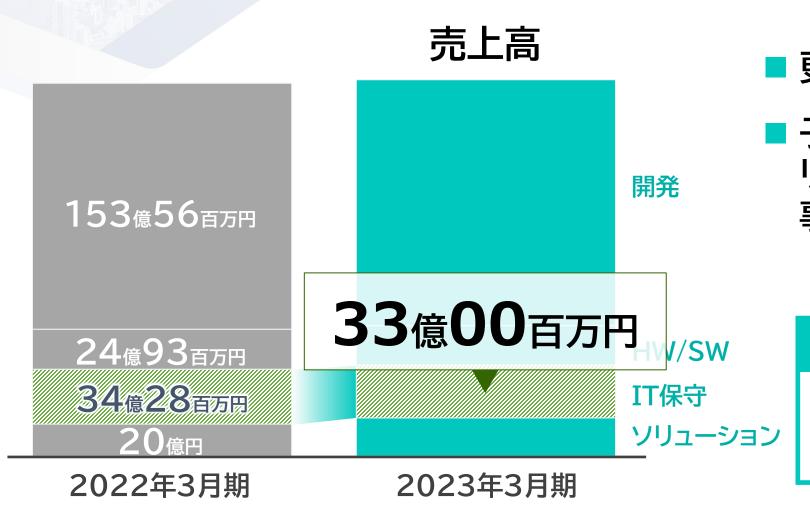








#### IT保守サービス



- ■更新案件は堅調に推移
- 子会社であったアイ・ネット・ リリー・コーポレーションの 事業譲渡の影響

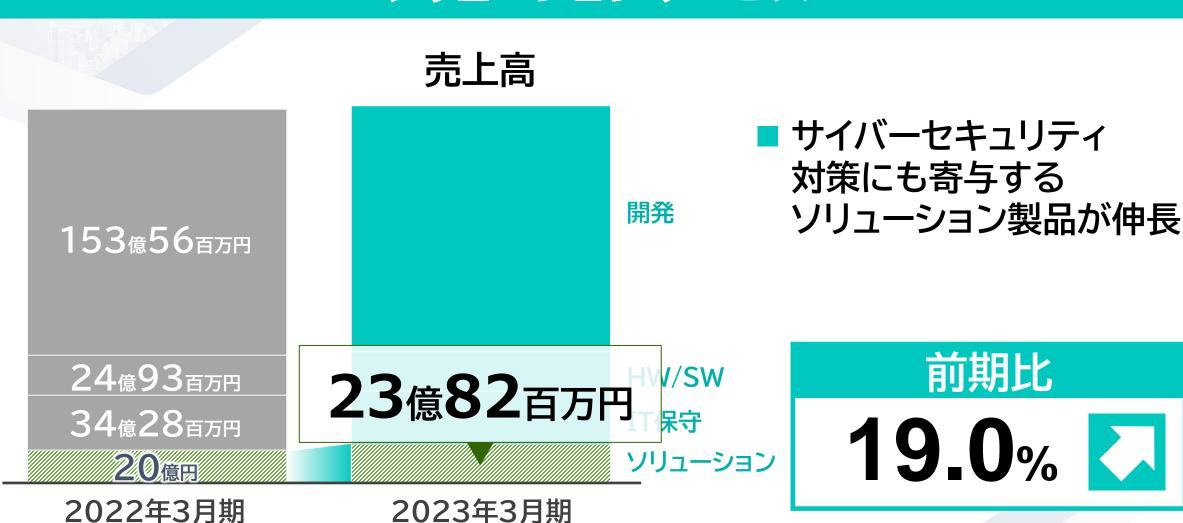
前期比

3.7%

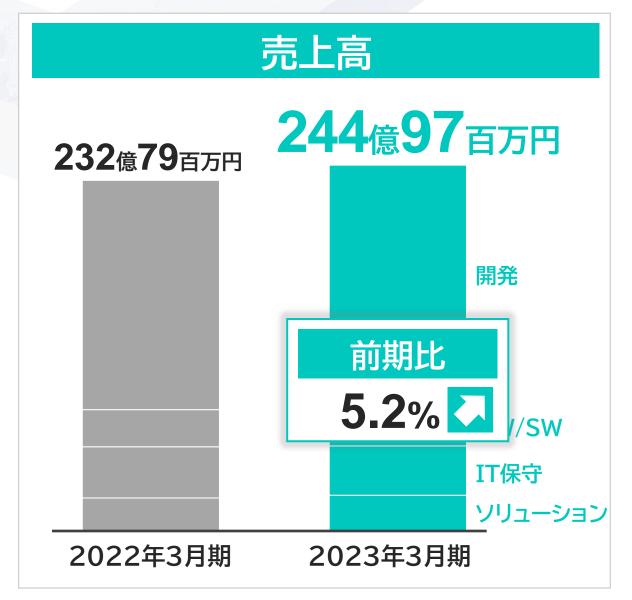


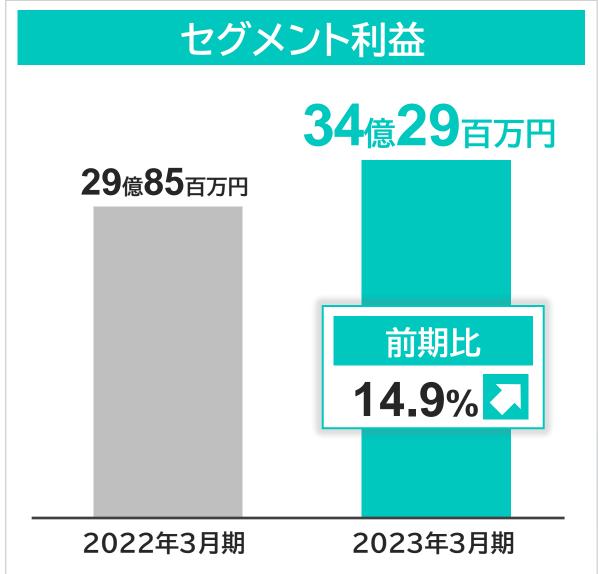


#### ソリューションサービス











### 連結貸借対照表



#### 負債合計

資産合計

225億72<sub>百万円</sub>

流動資産

159億31<sub>百万円</sub>

固定資産

66億40百万円

純資産合計

## 資産の部

- ■「売掛金」や「投資有価証 券」が増加
- ■「現金及び預金」や「ソフ トウェア仮勘定」が減少

前期末比

27億34百万円 減

225億72百万円

### 連結貸借対照表



#### 資産合計

225億72<sub>百万円</sub>

流動資産

159億31<sub>百万円</sub>

固定資産

66億40百万円

#### 負債合計

77億52百万円

 流動負債
 74億10

 固定負債
 3億41

 百万円

純資産合計

## 負債の部

■「長期借入金」が減少

前期末比

17億85百万円 減

77億52百万円

#### 連結貸借対照表



#### 資産合計

225億72<sub>百万円</sub>

流動資産

159億31百万円

固定資産

66億40百万円

#### 負債合計

77億52百万円

流動負債74億10<br/>百万円固定負債3億41<br/>百万円

#### 純資産合計

148億20百万円

## 純資産の部

- 親会社株主に帰属する 当期純損失の計上
- 配当による「利益剰余 金」の減少

前期末比

9億49百万円減

148億20百万円

## 連結損益計算書



			(百万円)
	2022年3月期	2023年3月期	前期比
売上高	42,660	44,018	3.2%
営業利益	1,595	1,775	11.3%
経常利益	1,769	1,813	2.5%
親会社株主に帰属する当期純損益	1,401	△147	_

# 計算書類

招集ご通知 43ページから44ページ

# 連結株主資本等変動計算書 連結注記表 株主資本等変動計算書 個別注記表

当社ウェブサイト等



#### 連結業績予想のポイント



#### セキュリティ事業

- 成長施策を推進 個別監視を軸とした運用監視サービスやAIを活用した診断サービスの拡大、協業による緊急対応サービス体制強化などを推進
- 増収増益を予想 市場における競争力の維持・向上を図りながら、 運用監視サービスを中心として伸長を見込む

#### SI事業

- 今後の収益改善に向けた取り組みを推進 クラウド型サービス導入・活用を基軸とした 付加価値の高いシステム開発案件の拡大と ともに、エンジニアのリスキリングを推進
- 増収減益を予想売上は伸長するものの、来期以降の持続成長に向けたリスキリングに伴う稼働率低下により、一時的な収益率低下を見込む

#### 全体として増収増益を予想

一方で、今期最終年度となる中期経営計画の目標値に対しては未達予想

## 連結業績予想(前期比)



#### 売上高、利益とも増収増益を予想

(百万円)

科目	'23年3月期	'24年3月期	前期比	
<b>村日</b>	通期実績	通期予想	増減額	增減率(%)
売上高	44,018	46,500	+2,481	+5.6
営業利益	1,775	1,900	+124	+7.0
営業利益率%	4.0	4.1	+0.1p	_
経常利益	1,813	1,900	+86	+4.8
経常利益率%	4.1	4.1	∆0.0p	-
親会社株主に帰属する当期純損益	△147	1,250	+1,397	_
自己資本当期純利益率(ROE)%	△1.0	8.3	+9.3p	_

#### セグメント別業績予想(前期比)

志 上京



## セキュリティ事業は増収増益、SI事業は増収減益を予想 全社共通費用は減少を予想

'23年3月期

'24年3月期

(百万円)

前期比

一	通期実績	通期予想	増減額	增減率(%)
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	19,521	21,270	+1,748	+9.0
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	24,497	25,230	+732	+3.0
合計	44,018	46,500	+2,481	+5.6
セグメント利益	'23年3月期	'24年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	2,366	2,520	+153	+6.5
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	3,429	3,360	∆69	△2.0
合計	5,795	5,880	+84	+1.5
全社共通費用	∆4,020	∆3,980	+40	_

(注)セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

## サブセグメント別業績予想(前期比)



#### (百万円)

				(
売上高	'23年3月期	'24年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	19,521	21,270	+1,748	+9.0
セキュリティコンサルティングサービス	3,956	4,180	+223	+5.6
セキュリティ診断サービス	2,748	2,910	+161	+5.9
セキュリティ運用監視サービス	5,951	7,110	+1,158	+19.5
セキュリティ製品販売	6,004	6,350	+345	+5.8
セキュリティ保守サービス	860	720	△140	△16.4
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	24,497	25,230	+732	+3.0
開発サービス	16,354	16,860	+505	+3.1
HW/SW販売	2,459	2,830	+370	+15.0
IT保守サービス	3,300	3,040	∆260	△7.9
ソリューションサービス	2,382	2,500	+117	+5.0
合計	44,018	46,500	+2,481	+5.6

<sup>(</sup>注) 2024年3月期において、以下のとおり一部サービスでサブセグメントの組み替えをしています。

<sup>・</sup>マネージドEDR(エンドポイント向け監視)サービス: コンサルティングサービス(緊急対応) → 運用監視サービス

<sup>・</sup>予防接種(標的型メール訓練)サービス:診断サービス → コンサルティングサービス(教育・訓練)

### セキュリティ事業 主要施策





### 個別監視を軸とした運用監視サービスの拡大

- 特定顧客向けに高度な対策を行う個別監視サービスの前期受注案件のビジネス推進と 更なる受注拡大(デジタル庁ほか大手小売業向け案件などの導入推進)
- エンドポイント向け監視サービスの更なるビジネス拡大(JSOCに組み入れ体制強化)
- 企業のIT環境を包含するXDR、SOARなど新規サービス開発の推進



### 診断サービスの更なるビジネス拡大

- 「Diaforce」管理プラットフォームを活用したWebアプリケーション診断などの拡大
- ペネトレーションテストにおける前期の大型受注案件の着実な推進



### 緊急対応サービスの事業体制強化の推進

● イスラエルSygnia社との協業による大規模・複雑化するインシデントへの対応力強化

### SI事業 主要施策





### クラウド型サービス導入・活用支援ビジネスの拡大

EC(Salesforce)、ID管理(Okta)などのシステム開発案件を積極的展開



### 高度な専門性を持つ先端IT人材へのリスキリングの推進

● 技術者単価の押し上げ、先端人材の採用拡充を推進



### 物販・ライセンス販売の拡大

● 先進的なIT製品・クラウドソリューションの取り扱い製品拡充による売上拡大

HashiCorp okta box

# 経営・事業共通 主要施策





### ChatGPTなどAIを活用した社内生産性向上と事業開発の検証

- ◆ 社内全般の業務効率化およびセキュリティ事業を軸としてサービス開発などの検証を推進
- ラックGAI CoE(Generative AI Center of Excellence)を設置 ※ CoE: 経営リソースを社内横断で集中投下し、課題解決を図る組織



### 社内新基幹システムの再構築の推進

- スピーディに新テクノロジーを活用する新基幹システムの企画・設計の推進
- Sales Techの活用による営業効率の向上



### 新たな働き方に対応したオフィス戦略の推進

● テレワークを軸とした勤務体系による平河町・東陽町オフィス拠点戦略の推進

## 中期経営計画目標との差異



# 中期経営計画の業績目標値から大きく下回る予想 ROEも目標水準を下回る予想

科目	"24年3月期 中期経営計画目標	"24年3月期 通期予想	差異
			増減額
売上高	550億円	465億円	△85億円
	はユリティ事業 255億円 SI事業 295億円	セキュリティ事業 212億円 SI事業 252億円	達成率84.5%
営業利益	30億円	19億円	△ <b>11億円</b> 達成率63.3%
ROE	10%以上	8.3%	∆1. <b>7</b> p

#### 差異の主な要因

- 個別監視の立ち上がりの遅れ
- クラウド領域での事業機会の創出や 拡大の遅れ
- M&Aなど成長投資の機会創出が途上
- 生産性改善による収益力向上が不十分
- 社内基幹システム開発延期・ 中止等による経営・事業のDX化遅れ

## 中期経営計画の進捗状況



#### 成長戦略3つの方針

#### 主な成果

# **-**耐久力

基幹事業の生産性向上、コスト構造改革 単発ビジネスから継続ビジネス 「リカーリング」へ

LACブランド認知を活用し事業を拡大する

● セキュリティ対策の認知度をもとに、高付加価値サービス や営業施策をもとにコア顧客から安定してリカーリング案 件を獲得

# 2 適応力

成長分野のクラウドソリューションの強化

事業ノウハウのデジタル化と顧客サービス 高度化

独自サービス・ソリューションへの強化

- セキュリティソリューション商材のラインアップ拡充や合弁会 社によるサービスなどクラウド関連のビジネスを整備
- AIを活用した診断サービスのデジタル化の推進、金融犯罪対策の独自ソリューションを立ち上げ
- SIサービスにおけるクラウドソリューションシフトの推進

# 3 デジカ

経営・事業管理の徹底したデジタル化と 業務プロセス変革

独自事業基盤システムを整備し、商機に柔軟に対応

デジタルマーケ、デジタル営業による新規顧客開拓

- テレワークでの勤務形態を踏まえたクラウドベースによる 社内IT環境×ゼロトラストの推進
- Office365を軸とした社員の生産性向上への取り組み



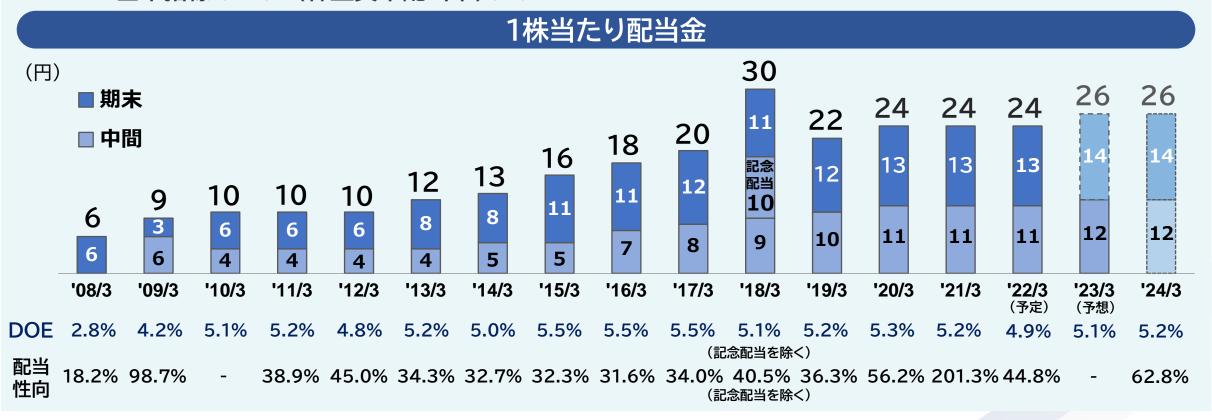
### 株主還元(年間配当)



### 年間配当は26円の予定、今期も26円の予想

### 配当方針

- 長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
- 基本指標はDOE(株主資本配当率)5%





招集ご通知 8ページから21ページ



# 剰余金の処分の件

招集ご通知 8ページ

## 第1号議案 剰余金の処分の件



1 配当財産の種類

金銭

配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金14円 総額429,034,494円

到 剰余金の配当が 効力を生じる日

2023年6月22日



# 第2号議案

# 取締役9名選任の件

招集ご通知 9ページから18ページ

# 第2号議案 取締役9名選任の件



たか なし てる ひこ

高梨 輝彦

にしもと いつろう

西本 逸郎

ふなびき ゆう じ

船引裕司

いぶか まどか

井深円

むら い じゅん 村井

なか たに

のぼる

中谷

さきかちひろ

佐々木 通博

むらぐち かずたか

村口和孝

つち や な お

土屋 奈生



# 監査役2名選任の件

招集ご通知 19ページから20ページ

## 第3号議案 監査役2名選任の件



はち や こういち

蜂屋浩一

せき ね りょうた

関根 良太

# 第4号議案

# 補欠監査役1名選任の件

招集ご通知 21ページ

# 第4号議案 補欠監査役1名選任の件



おおつか あきら

大塚彰

